

第282回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

日時：令和7年1月28日（火）15時40分～15時54分

方法：Web会議

○司会 ただいまから、郵政民営化委員会山内委員長によります記者会見を行います。

本日も、オンライン形式での会見としております。恐縮ですが、御発言をされないときにはマイクをミュートにさせていただきますよう、御協力をお願いいたします。

会見の進め方ですが、冒頭、山内委員長に御発言いただき、その後、質疑応答とさせていただきます。

それでは、山内委員長、お願いいたします。

○山内委員長 郵政民営化委員会委員長の山内でございます。よろしくをお願いいたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について、御説明申し上げます。

資料については、お配りしてあるということでございます。

本日は、日本郵政グループ各社から、人材育成の取組について、ヒアリングを行いました。議事の内容については、配布資料を御確認いただければと思います。

そこで、当グループ各社の人材育成の取組については、次のような質疑がございましたので、紹介させていただきます。

これは、女性の管理職問題でありますね。女性の管理職比率を、今後4年で政府目標の30%まで高めていくための取組について伺いたいという委員からの御質問がございました。これに対して、日本郵政側からですが、女性管理職比率は、現在、16%強というところがあります。女性職員が管理職となることを若い段階から意識づけをすることが必要であること、また、その女性が管理職昇職に当たって負担となる、例えば、転居を伴う転勤とか、長時間勤務等について、家庭との両立が可能となるような労働時間の削減、仕事の棚卸し等の取組を推進しているということございました。

私からの議事に対する説明は、以上でございます。

次回の委員会の開催については、未定となっております。

私からは、以上でございます。

○司会 それでは、質問をお受けいたします。御質問のある方は御発声または挙手ボタンでお知らせください。いかがでしょうか。

郵湧新報の園田さん。

○記者 郵湧新報の園田でございます。お世話になります。

地方とかで、繁忙局ではない郵便局で、個性ある郵便局をつくるという動きがある中で、窓口の時間帯とかを柔軟に考えていくようなことも検討されているみたいですがけれども、この副業を、資料だと、戦略的副業というのは、非常に選ばれた人たちだけの話になっていくと思うのですけれども、そういう窓口時間の柔軟性と副業を結びつけていくような、

そういう検討のお話は、現段階で、何かあったとか、そういうことは、お話はありましたでしょうか。

○山内委員長 ありがとうございます。

私の伺っている限りでは、今、おっしゃったような、繁忙の問題あるいは勤務時間の問題と副業の問題をリンクージュするような御説明はなかったと思っておりますが、例えば、個人的に申し上げると、そういった副業等についても、従業員の方、自ら率先して提案していくとか、あるいは、自分たちから提案していく、こんなことが必要ではないかなと思っております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 そのほか、よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、これにて会見を終了とさせていただきます。

山内委員長、本日御出席の皆様、どうもありがとうございました。

○山内委員長 どうもありがとうございました。

以上